

あさかまちづくりサロン（地域版）の企画案

1. これまでの都市計画審議会における説明のおさらい

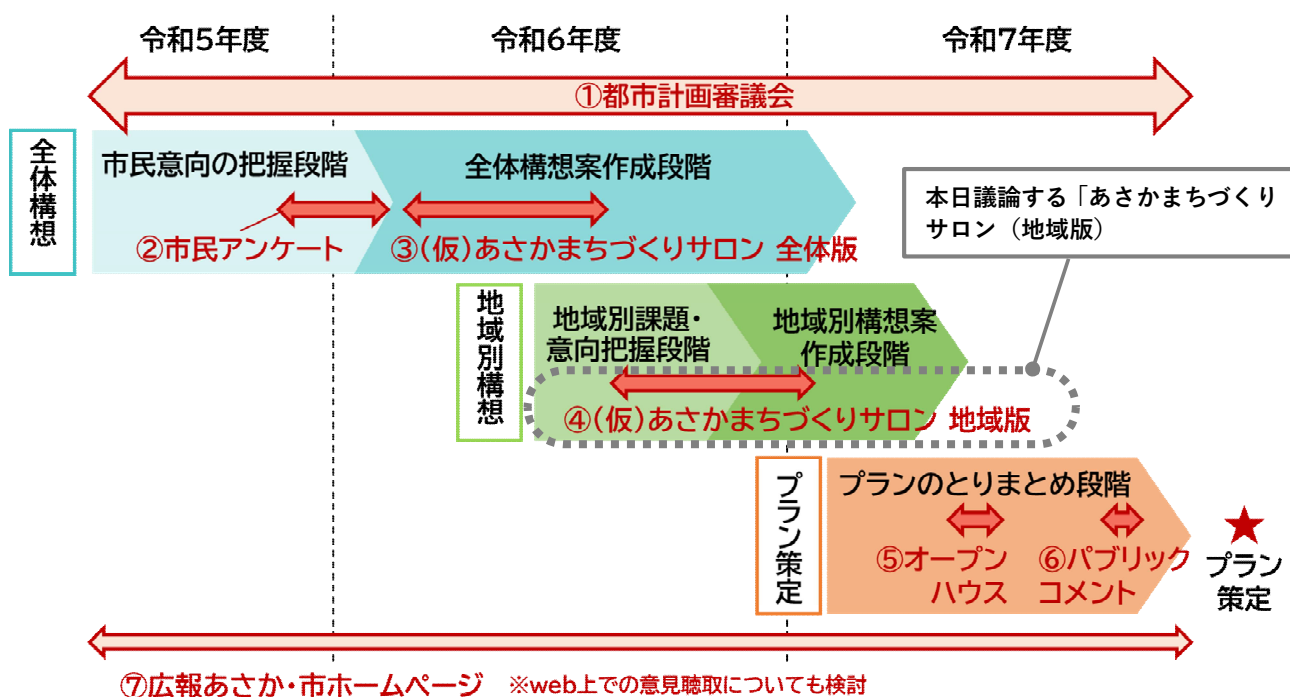
※2024 年 2 月 14 日第 2 回都市計画審議会資料より

【朝霞市都市計画マスタープランにおける合意形成の目的】

- ・第一の目的は、プランを策定していく各段階において、市民の皆さまのご意見を反映していくことです。
- ・それだけではなく第二の目的として、都市計画マスタープランやまちづくりに興味を持ち、プランの策定後もまちづくりに関わり続ける市民の裾野を拡げていくことも目的とします。

【合意形成の全体プロセスと手法】

- ・プラン策定の段階に応じた手法を組み合わせる合意形成を図っていきます。そのプロセスのなかで、地域別構想策定の初期段階で「あさかまちづくりサロン（地域版）」を行います。



2. あさかまちづくりサロン（地域版）の企画案

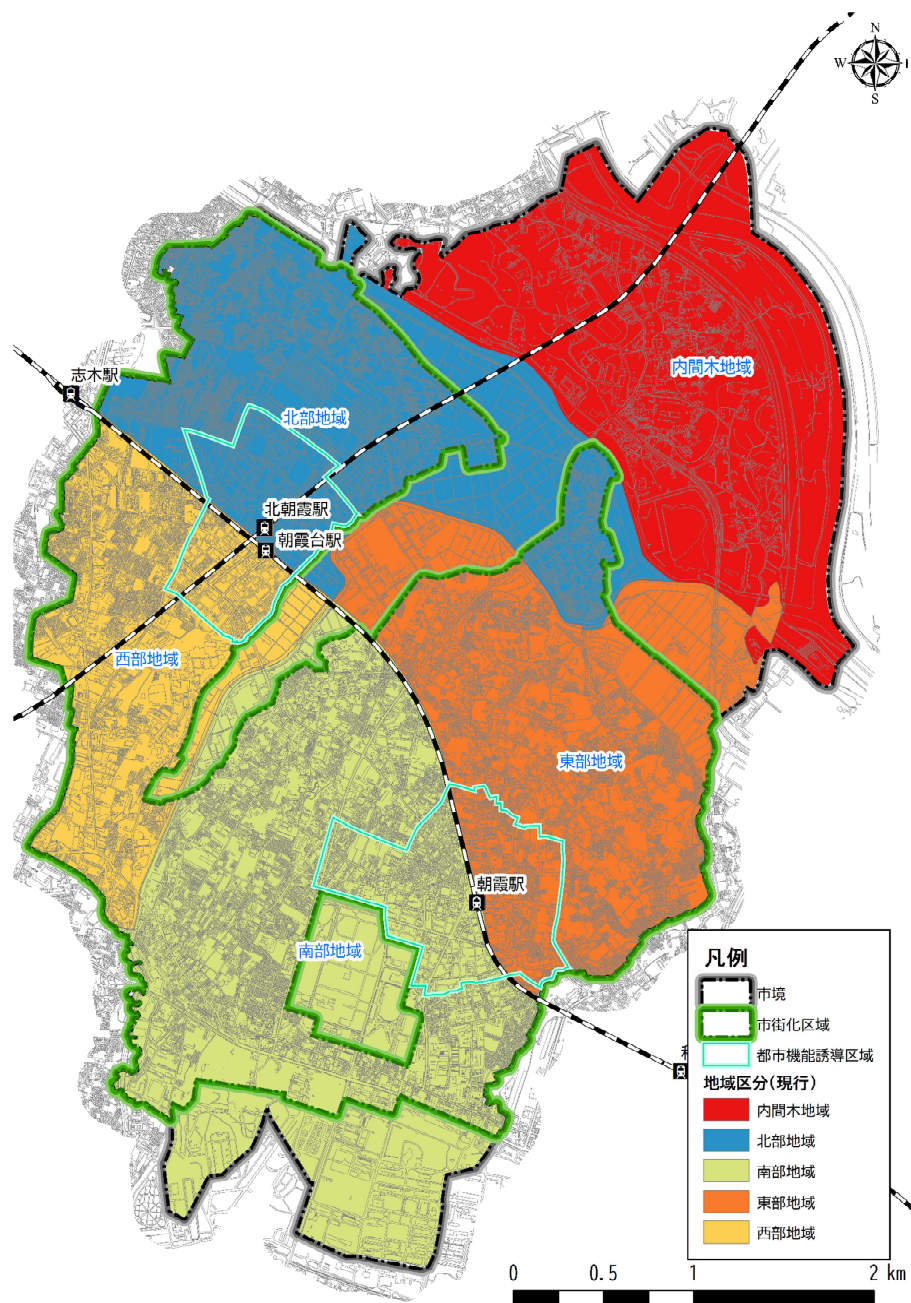
【目的】

各地域に関係する市民が集い、地域のまちづくりについて話し合う場を設け、地域別構想に地域住民の意向を反映させるとともに、地域が主体となったまちづくり活動の機運を高めることを目的とします。

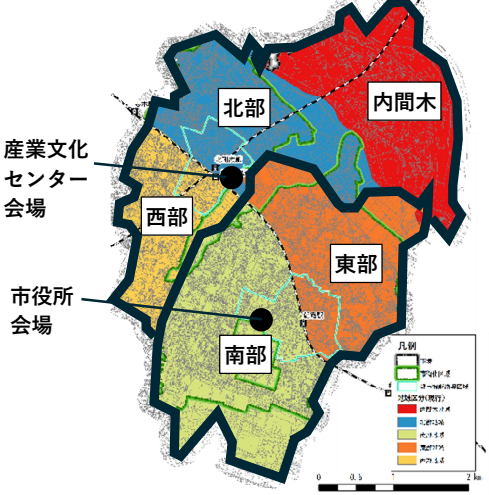
【地域の区分】

2024年2月の第2回都市計画審議会において、次期都市マスの地域区分は現行計画を踏襲することとしました。

そのため、あさかまちづくりサロン（地域版）についても現行の5つの地域区分を踏襲することとします。



【実施方法】

項目	説明										
会場と 地域の割り振り	参加していただく市民の負担軽減と効率的なサロン運営の両立を図る観点から、2つの会場を設け、会場同士をWEBで中継して運営します。 【市役所会場】 ＝南部地域と東部地域 【産業文化センター会場】 ＝西部地域・北部地域・内間木地域 										
参加者の募集	朝霞市広報、朝霞市ホームページのほか公式 SNS を使って参加者の公募を呼びかけます。1地域あたり5～10名弱の参加を見込んでいます。										
サロンの時期と 各回のテーマ	- まちづくりサロン（地域版）は全4回程度の実施を予定しています。 - 概ね1～2週間程度に1回の頻度で実施します。 ※下記は現時点での見通しであり変更することがあります。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回数と時期</th><th>テーマ・内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回 令和7年4月中旬</td><td> 「地域の資源と課題を再確認しよう」 地域の良いところ（資源）と、改善すべきところ（課題）を出し合い、地域の現状を共有する </td></tr> <tr> <td>第2回</td><td> 「地域づくりの目標を設定しよう」 地域の資源と課題を踏まえ、地域が目指すまちづくりの目標（将来像）を定める </td></tr> <tr> <td>第3回</td><td> 「地域別特定テーマについて話し合おう」 第1・2回の議論や地域の特徴を踏まえて地域ごとに特定テーマ（※）を設定し、特定テーマに対する課題や対応策を話し合う （※）例えば、通学路の安全対策や駅周辺の活性化など </td></tr> <tr> <td>第4回 令和7年5月末頃</td><td> 「市民からのまちづくり提案」 市民が主体となって行うまちづくり活動としてどんなことができるか、実際に自分がやるならどんなことができるか考え、提案する </td></tr> </tbody> </table> （1.5ヶ月～2か月程度の間に4回実施予定）	回数と時期	テーマ・内容	第1回 令和7年4月中旬	「地域の資源と課題を再確認しよう」 地域の良いところ（資源）と、改善すべきところ（課題）を出し合い、地域の現状を共有する	第2回	「地域づくりの目標を設定しよう」 地域の資源と課題を踏まえ、地域が目指すまちづくりの目標（将来像）を定める	第3回	「地域別特定テーマについて話し合おう」 第1・2回の議論や地域の特徴を踏まえて地域ごとに特定テーマ（※）を設定し、特定テーマに対する課題や対応策を話し合う （※）例えば、通学路の安全対策や駅周辺の活性化など	第4回 令和7年5月末頃	「市民からのまちづくり提案」 市民が主体となって行うまちづくり活動としてどんなことができるか、実際に自分がやるならどんなことができるか考え、提案する
回数と時期	テーマ・内容										
第1回 令和7年4月中旬	「地域の資源と課題を再確認しよう」 地域の良いところ（資源）と、改善すべきところ（課題）を出し合い、地域の現状を共有する										
第2回	「地域づくりの目標を設定しよう」 地域の資源と課題を踏まえ、地域が目指すまちづくりの目標（将来像）を定める										
第3回	「地域別特定テーマについて話し合おう」 第1・2回の議論や地域の特徴を踏まえて地域ごとに特定テーマ（※）を設定し、特定テーマに対する課題や対応策を話し合う （※）例えば、通学路の安全対策や駅周辺の活性化など										
第4回 令和7年5月末頃	「市民からのまちづくり提案」 市民が主体となって行うまちづくり活動としてどんなことができるか、実際に自分がやるならどんなことができるか考え、提案する										
サロンの効果を 高める工夫例	- 地域の現状を客観的・定量的に把握できる「地域カルテ」を用意するとともに、テーブルごとに地理情報システム（公開型GIS）を閲覧できるように準備します。 - 他会場の発表内容を共有できるよう会場同士をWEBカメラで繋ぎます。 - 出張保育などを用意し、小さい子ども連れでも参加しやすい場とします。										

以上